



週間情報



No.0517

発行日 令和5年5月16日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

消防本部の動き

訓練

◆ テロ災害対応訓練を実施

岐阜市消防本部（岐阜）

岐阜市消防本部では、令和5年4月26日（水）、JR岐阜駅において、岐阜県警察本部、東海旅客鉄道株式会社と合同でテロ災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、部隊運用の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「駅構内で化学剤が撒かれ、数名の利用者が目や喉等の痛みを訴えている。」という想定で、3機関が協力し、要救助者の救出や除染活動等を実施しました。

今後も、他機関との合同訓練を継続し、災害対応能力のさらなる向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体建物を活用した警防活動訓練を実施

幸田町消防本部（愛知）

幸田町消防本部では、令和5年4月28日（金）、管内の解体予定の建物を活用した警防活動訓練を実施しました。

この訓練は、実際の建物を活用し、実災害に近い状況において、各種資器材の取り扱いや建物構造の特性を理解し、災害活動に生かすことを目的として実施したものです。

当日は、施錠されたドアの開放、高所への進入、濃煙室内での検索救助訓練などを実施しました。今後も、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

その他

◆ 人命救助協力者へ感謝状を贈呈

大牟田市消防本部（福岡）

大牟田市消防本部では、令和5年4月26日（水）、人命救助協力者の2人に対して、桑畑消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年2月24日（金）、市内の河川において、身体の半分が水に浸かり、石垣につかまった状態で助けを呼んでいる男性を、近くにいた2人が協力して梯子とロープを活用し、男性を救出したものです。

2人の連携と勇気ある行動により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 人命救助活動協力者に感謝状を贈呈

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、令和5年5月1日（月）、人命救助活動の協力者に対して、兵庫県警察本部と合同で感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年4月17日（月）、当市内の河川で流されている女性を発見した男性が、いち早く駆け付けて救出したものです。

協力者の勇気ある行動により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 人命救助活動功労者に表彰状を贈呈

天草広域連合消防本部（熊本）

天草広域連合消防本部では、令和5年5月8日（月）、人命救助活動の功労者5人に対して、消防長から表彰状を贈呈しました。

本事案は、令和5年3月19日（日）、路上で心肺停止状態となっている男性を、車で通りかかった親子2人が発見し、119番通報を行うとともに、近くに住む家族と協力して胸骨圧迫を実施したもので、救急隊が現場に到着後、AEDを使用して男性の心拍が再開しました。

5人の積極的かつ的確な行動により、尊い命が救われました。



【表彰状贈呈後の記念撮影 ※3人欠席】

◆ ガソリン放火防止運動を実施

泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南消防組合泉州南広域消防本部では、令和5年4月28日（金）、管内のガソリン適正販売協力店において、ガソリン放火防止運動を実施しました。

この運動は、ガソリン容器の販売について適正化を図ることを目的として、同店にポスターの掲示やオリジナルステッカーの貼り付けを行い、法令遵守やガソリン放火防止について広報を実施したものです。

今後は、管内の給油取扱所におけるガソリン容器の販売状況をリスト化し、店舗ごとに販売記録を作成するとともに、使用者に対して氏名、住所、使用目的等の聴取を徹底するよう指導してまいります。



【ガソリン放火防止運動の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 「新型コロナウイルス感染症に係る消防機関における対応について」の廃止について

（消防消第171号、消防救第140号、令和5年5月8日）

消防庁消防・救急課長、救急企画室長から各都道府県消防防災主管部（局）長あてに通達が発出されましたので、お知らせします。

本日、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）における新型コロナウイルス感染症の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症」から「5類感染症」に見直されたことに伴い、「新型コロナウイルス感染症に係る消防機関における対応について」（令和2年2月4日付け消防消第26号消防庁消防・救急課長、消防救第32号消防庁救急企画室長通知）は廃止します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/36f786b2f799f347b0b1082c6242c55bf2849850.pdf>)

に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁救急企画室

飯田専門官、鈴木補佐、日高係長

橋本事務官、田中事務官

TEL：03-5253-7529

E-mail：kyukyuanzen@soumu.go.jp

◆ 救急において新型コロナウイルス対応として使用する個人防護具に係る新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の活用について

(事務連絡、令和5年5月9日)

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部(局)あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

先般、厚生労働省より、各都道府県衛生主管部(局)等宛て「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制の移行及び公費支援の具体的内容について」(令和5年3月17日付け厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡)が発出されました。当該事務連絡の中で「5類感染症への移行に伴い、感染症法に基づく移送は終了し、救急要請された際の搬送は消防機関による対応となる。救急において新型コロナ対応として使用する個人防護具(PPE)については、都道府県が購入して配布する場合の費用や市町村が購入する場合の費用(当該個人防護具の廃棄に係る費用を含む)を、9月末までの間、緊急包括支援交付金の補助対象とする。」と記載されていました。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/129b3c309dcfc4465327d344a5a8cce079ffaf6d.pdf>)
に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁救急企画室

飯田専門官、鈴木補佐、日高係長
橋本事務官、田中事務官

TEL : 03-5253-7529

E-mail : kyukyuanzen@soumu.go.jp

報道発表

◆ 「危険物保安技術協会の検査員資格に関する検討会」の開催

(令和5年5月8日、消防庁)

危険物保安技術協会(以下「KHK」という。)は、消防法(昭和23年法律第186号。以下「法」という。)第11条の3又は第14条の3第3項の規定に基づき、市町村長等の委託を受けて屋外タンク貯蔵所に係る審査を行っています。

KHKの検査員資格の要件については、危険物の規制に関する政令(昭和34年政令第306号。以下「政令」という。)第41条の3第1号から第3号に定められておりますが、要件について現状に即していない部分があるところです。

これを踏まえ、本検討会は、危険物保安技術協会の検査員としての業務を十分行える者が検査員として活躍することを可能とするため所要の検討を行うことを目的として、「危険物保安技術協会の検査員資格に関する検討会」を開催することとしましたので、お知らせします。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/00b73355234b2ff80617c561ea5fca19243e685a.pdf>)
に掲載されています。

<問い合わせ先>

総務省消防庁危険物保安室 竹村、小川、有働、田中
TEL : 03-5253-7524 (直通)

情報提供

◆ 令和5年度「防災啓発中央研修会（前期）」の受講者募集について

一般財団法人消防防災科学センター

一般財団法人消防防災科学センターでは、令和5年度「防災啓発中央研修会（前期）」の受講者を募集しております。多数のご参加をお待ちしております。

1 開催日時

令和5年6月30日（金）13時から16時30分

2 開催方式

オンライン開催（Zoomによる。Zoomアプリの登録は不要）

3 主催

一般財団法人消防防災科学センター（後援：総務省消防庁）

4 対象者

都道府県、市町村及び消防本部等の職員並びに一般住民

5 受講者数

1,000名（定員）

6 受講料

無料

7 申込方法

受講を希望される方は、市町村防災研修ホームページから事前にお申し込みください。

[\(http://www.bousai-kensyu.com/chuo_oubo/\)](http://www.bousai-kensyu.com/chuo_oubo/)

お申し込み後に、登録時のメールアドレスに「申込完了」メールが届き、後日、「研修視聴用URL」メールが届きます。

8 プログラム

(1) 13時10分～14時10分

緊急事態と地方自治体の危機管理

荒関 大輔（総務省消防庁国民保護・防災部 国民保護運用室長）

(2) 14時20分～15時20分

来るべき大規模地震災害への事前対策と地域間の連携を考える

福和 伸夫（名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長）

(3) 15時30分～16時30分

災害後、避難先における被災者の健康、暮らしを守るには

石井 美恵子（国際医療福祉大学大学院 災害保健医療研究センター教授）

※ 都合により、講師・題名等が変更となる場合があります。

9 お問い合わせ

一般財団法人消防防災科学センター

中央研修会担当 小太刀俊雄

TEL:0422-24-7803

E-mail:kodachi@isad.or.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0516）1ページ、機関誌「ほのお」2023年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石原

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 原

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 岡崎

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。